# 音楽大学における楽 ライティング支援

## ――「社会」を意識して書くこと――

2014. 11. 8. 於関西大学 大阪音楽大学 教養教育部会 日本語ライティング支援室 助教 髙橋 典子

## 本報告の目次



- 1. 本学の概略
- 2. 「社会」とは

――どんな力を身につければよいのか?

- 3. 取組紹介
  - ①名刺作成講座
  - ②個別相談受付
  - ③フリーマガジン作成
  - 4演奏会記録

## 1. 本学の概略



- ・音楽単科大学
- ・学生数1,000名程度(大学と短大の総数)
- ●大阪音楽大学 1学部11専攻

音楽学部:作曲、音楽学、声楽、ピアノ(ピアノコース/ 指導者コース/演奏家特別コース)、 弦楽器(弦楽器コース/ヴァイオリン演奏家特別コース)、 管楽器、打楽器、パイプオルガン、邦楽

●大阪音楽大学短期大学部 1科11コース

音楽科:作曲、声楽、ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、邦楽、 クラシックギター、ジャズ、ポピュラー、電子オルガン、

ミュージカル、ダンスパフォーマンス

## 1. 日本語ライティング支援室の概略



●2010年12月設置

文科省 就業力GP「事実にもとづく日本語ライティング」

●スタッフ6名(2014年度)

ライティング(2名)

デザイン(2名)

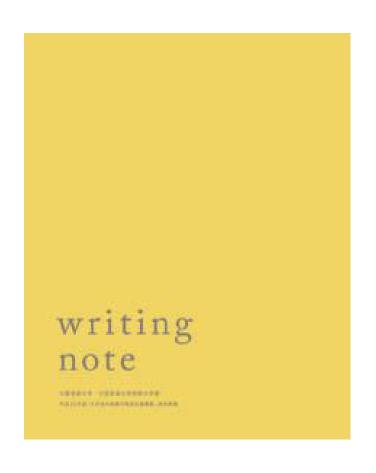
経理・WEB関連(1名)

インターンシップ・キャリア(1名)

## 1. 日本語ライティング支援室の概略



#### ●デザイン担当のスタッフがいることのメリット





## 1. 日本語ライティング支援室の概略



●個別相談受付

授業レポート、エントリーシート、チラシ作りなど

●教材作成

2011年3月『writing note』など

●授業

レポートの書き方(初年次必修)、日本語ライティング演習、 ポートフォリオ作成演習

●講座・トークイベント

名刺作成講座、敬語講座、実習日誌書き方講座など

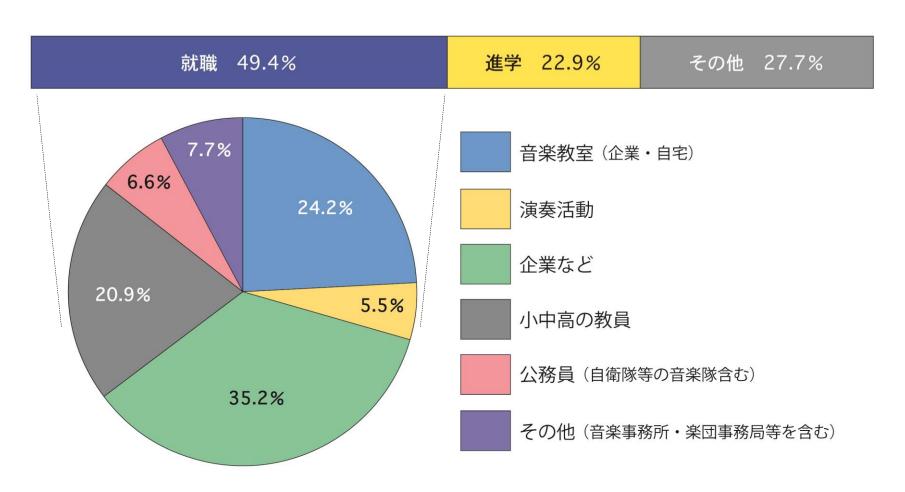
●課外プロジェクト

演奏会記録作成、フリーマガジン作成、他大学との連携PBL企画

## 2.「社会」とは?



本学学生の主な進路と就職先(2013年度大学卒業生184名)



### 2.「社会」とは?



音大生にとって 目指す「社会」は広い

あらゆる年齢・ 社会的立場の人との コミュニケーション

ステージスタッフ

演奏を依頼する クライアント

演奏会のお客様

教職員とのつながり =音楽家の人脈

就職先の企業・団体

音楽教室の生徒さん

## 2.「社会」とは?



#### ライティングを通じて身につけたい「力」

- ●説明・プレゼンテーションの力
- ・基本(5W1Hや文章の型、社会人としてのマナー)をふまえて わかりやすく説明する
- ・語彙などの引き出しを増やし、自分の表現を見つける

#### ●論理の力

・ばらばらの事実から仮説を構築する、まとめる

#### ●内省・洞察の力

・経験を言語化することで「気付き」を増やし、蓄積していく

# 3. 取組紹介 ①名刺作成講座



#### 「伝える」ライティングのきっかけ作り

●気軽に参加できる

昼休み30分間のミニ講座/毎月開催

現物を持ち帰れる

必要性を実感しやすい→口コミで広まる

●支援室利用のきっかけになる

ほぼ個別指導形式

目的に応じて書く情報を取捨選択する経験ができる

校正・レイアウトへ・画像著作権などへの注意



# 3. 取組紹介 ②個別相談受付



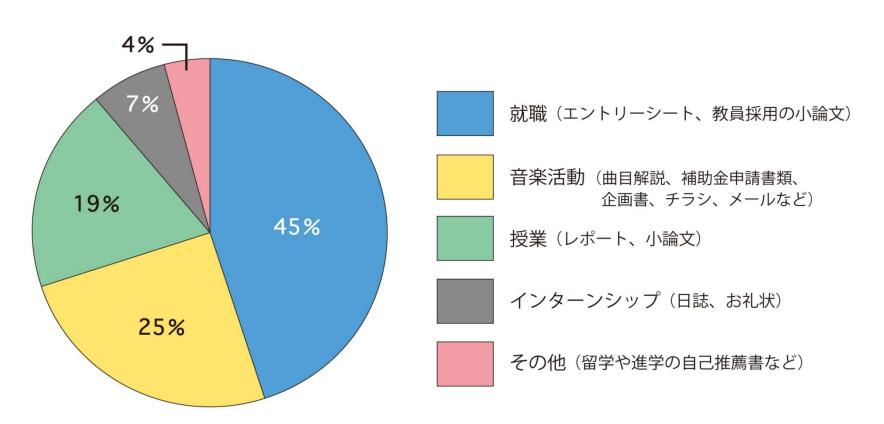
#### さまざまな書類について、書く経験を増やす

- ●気軽に利用させる
  - 毎日受付/予約不要/制限時間なし(学生の集中力とマナーによる)
- ●さまざまな文種に対応できるようにする
- ・実例を教職員や企業等から収集しておく
  - …演奏活動関係書類、補助金申請書類、招待状、多様な広報物
- ・文種ごとの解決パターンを蓄積する
  - …インターンシップ関係 → 書き方資料の配布や座学の講義
  - …就職活動関係・授業レポート → 個別対応が必要

# 3. 取組紹介 ②個別相談受付



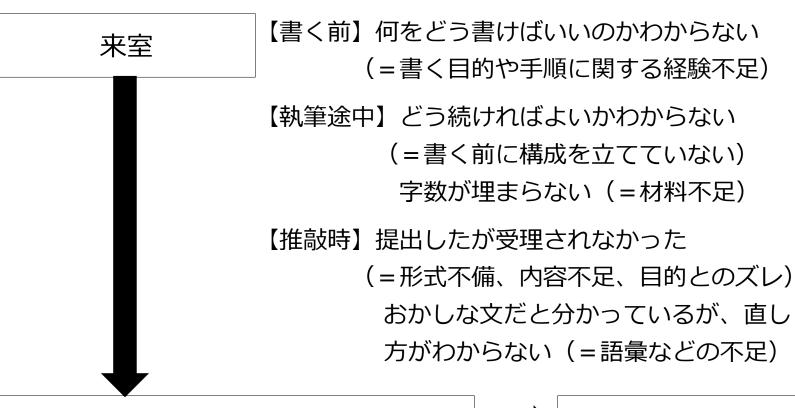
対応した文種の内訳 (2012年4月~2014年9月、500件余)



# 3. 取組紹介 ②個別相談受付



#### 来室のタイミングと主な相談



問題意識を持てた/修正方法を学んだ



繰り返し書く

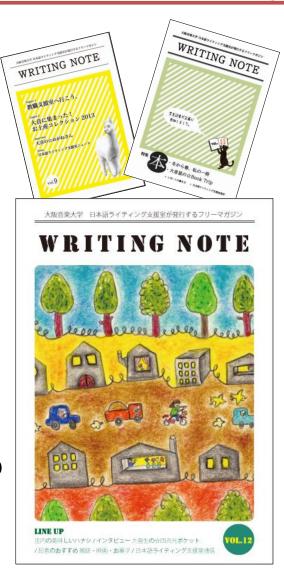
# 3. 取組紹介 ③フリーマガジン作成



#### 達成感を味わえるライティング

- ●学内向けフリーマガジン『writing note』2013年度より学生記者の参加毎号8~10名/2~3ヶ月で完結
- ●2014年7月発行 vol.12
- ・特集「庄内 美味しいハナシ」6p 地元喫茶店へのインタビューなど
- ・インタビュー「大音生の四次元ポケット」4p
- ・記者のおすすめ 3p

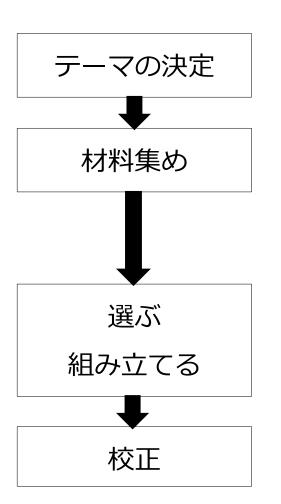
「雑誌」「映画」「お菓子の座談会」



# 3. 取組紹介 ③フリーマガジン作成



#### 読者を意識して、材料集めと「見せ方」を学ぶ



何を伝えるのか? 記者ならではの切り口は?

下調べ…書籍、雑誌、web、口コミ 取材…コストを考えて取材方法を決める 許諾を得る、質問事項をリストアップする 画像…写真撮影、書影の著作権処理

テキスト…見出し、導入、本文、まとめ どんな文体がふさわしいか? 画像の選択は?

ストーリー性、ページを読む視線の動き、統一感

チェックリストに従って何度も見直す

# 3. 取組紹介 ③フリーマガジン作成



● 『writing note vol.12』よりインタビューコーナー



# 3. 取組紹介 4演奏会記録



#### 内省のためのライティング

- ●ライブ後、メールで教職員に提出 実習日誌の形式…客層、選曲など
- ●「なぜそうしたか」を書かせる選曲理由、咄嗟の対応
- ●現場を観察させる お客様の小さな反応も書きとめる



# 3. 取組紹介 4演奏会記録



#### PBLとの組み合わせ

●有馬温泉ゆけむり大学(年に1回) 他大学との連携による合宿PBL 記録を書きながら反省会

慌ただしい現場で言えなかった ことも書く

→学生間の交流職員からのフィードバックライブ参加者以外も共有



## 今後の課題



#### 多様な「読み手」の確保 = 支援室の外への働きかけ

- <u>◆教員に向けて</u>
  - ・書いたものに対するフィードバック依頼
- ●学生に向けて
- ・学生同士で問題点を指摘し合えるシステム (授業での工夫、ワークショップなど)
- ●学外に向けて
- ・インターンシップやPBLに関連づけたプレゼンテーションの場作り
- ・フリーマガジン作成を通じて交流